

栃木県わがまち未来創造事業計画書（市町総括表）
 【単独 連携事業】

市町名	那須町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	那須町工芸作家による地域づくり事業		1,166,875	600,000	600,000	600,000	2,966,875
	うち市町支出額		882,278	500,000	500,000	0	1,882,278
	うち県交付金	0	441,139	250,000	250,000	0	941,139
2	「クロロとゆめな」を活用した黒田原地域活性化事業		1,024,123	200,000	200,000	200,000	1,624,123
	うち市町支出額		1,000,000			0	1,000,000
	うち県交付金	0	500,000	0	0	0	500,000
3	だっばら駅前マルシェ		1,098,000	800,000	1,000,000	1,000,000	3,898,000
	うち市町支出額		1,000,000	500,000	500,000	0	2,000,000
	うち県交付金	0	500,000	250,000	250,000	0	1,000,000
4	黒田原夏まつり		1,706,294	1,000,000	1,000,000	500,000	4,206,294
	うち市町支出額		1,000,000	500,000	500,000	0	2,000,000
	うち県交付金	0	499,999	250,000	250,000	0	999,999
5	黒田原地区歴史文化啓蒙事業		881,940	480,000	50,000	50,000	1,461,940
	うち市町支出額		881,940	480,000		0	1,361,940
	うち県交付金	0	440,970	240,000	0	0	680,970
6	池田地区ひまわりプロジェクト		144,343	223,500	150,000	150,000	667,843
	うち市町支出額		144,343	223,500		0	367,843
	うち県交付金	0	72,171	111,750	0	0	183,921
7	高久地区歴史めぐりと自然散策事業		937,707	522,000	522,000	22,000	2,003,707
	うち市町支出額		937,707	500,000	500,000	0	1,937,707
	うち県交付金	0	468,853	250,000	250,000	0	968,853
8	那須高原芸術祭		1,564,017	700,000	700,000	700,000	3,664,017
	うち市町支出額		1,000,000	500,000	500,000	0	2,000,000
	うち県交付金	0	499,999	250,000	250,000	0	999,999
9	竹のイノベーションを考える里山再生と地域振興	2,664,959	562,423	10,000	10,000	10,000	3,257,382
	うち市町支出額	1,000,000	500,000	0	0	0	1,500,000
	うち県交付金	500,000	249,999	0	0	0	749,999
10	あかりキッチン	200,600	945,725	1,010,000	510,000	510,000	3,176,325
	うち市町支出額	116,600	500,000	500,000	0	0	1,116,600
	うち県交付金	58,300	250,000	250,000	0	0	558,300
11	「那須・地ビール祭り2017」		2,945,032	2,600,000	2,600,000	2,600,000	10,745,032
	うち市町支出額		500,000	500,000	0	0	1,000,000
	うち県交付金	0	250,000	250,000	0	0	500,000
12	「傾聴と在宅支援」による地域支え合い事業	602,207	637,386	543,200	43,200	43,200	1,869,193
	うち市町支出額	488,497	500,000	500,000	0	0	1,488,497
	うち県交付金	244,248	250,000	250,000	0	0	744,248
13	障がい者アートを活用した地域づくり	1,640,765	1,098,557	740,000	240,000	240,000	3,959,322
	うち市町支出額	998,760	498,816	500,000	0	0	1,997,576
	うち県交付金	499,380	249,408	250,000	0	0	998,788
14	ホテルの里づくり事業	65,141	105,413	80,000	30,000	30,000	310,554
	うち市町支出額	65,000	105,413	80,000	0	0	250,413
	うち県交付金	32,500	52,706	40,000	0	0	125,206
15	ミツマタ群生地周辺整備事業	527,989	499,429	500,000	30,000	30,000	1,587,418
	うち市町支出額	527,989	499,429	500,000	0	0	1,527,418
	うち県交付金	263,994	249,714	250,000	0	0	763,708
16	大島ふれあい田んぼアートづくり事業	922,998	796,384	200,000	200,000	200,000	2,319,382
	うち市町支出額	922,998	351,440		0	0	1,274,438
	うち県交付金	461,499	175,720	0	0	0	637,219
17	那須の伝説「第15回那須九尾まつり」	9,584,168	9,204,112	8,500,000	8,500,000	8,500,000	44,288,280
	うち市町支出額	7,000,000	8,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000	36,000,000
	うち県交付金	1,500,000	1,500,000	0	0	0	3,000,000
市町計	総事業費	16,208,827	25,317,760	18,708,700	16,385,200	15,385,200	92,005,687
	うち市町支出額	11,119,844	18,301,366	12,783,500	9,500,000	7,000,000	58,704,710
	うち県交付金	3,559,921	6,650,678	2,891,750	1,250,000	0	14,352,349

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	那須町工芸作家による地域づくり事業
事業主体の名称	那須町文化活動委員会
代表者の名称	牛渡 洋
事業主体の所在	那須町大字高久甲2888-32
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的:地域住民と連携して那須町の地域づくりに寄与すること 設立年月日:平成28年12月15日 構成員等:芸術家及び工芸家等の指導者
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町には多くの有能な芸術家、工芸家が多く居住しているが、県内外の人々がその作品や芸術体験に触れる場の整備がなされておらず、那須の自然の中で芸術体験をしたいと考えている人への情報発信も不足している状況にある。そのため、体験型観光客の新規掘り起しができていないことが課題である。</p>
事業目的	<p>那須教育旅行誘致協議会などの関係団体と連携し、絵画、工芸、書道、華道などの体験教室、芸術祭、収穫祭などを開催するとともに、那須町に訪訪することでしかできない芸術体験を積極的に情報発信する。 また、那須に居住する素晴らしい芸術家、工芸家を効果的に活用して県内外から体験型観光客を集客し、文化交流人口を増加させると同時に地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 体験教室の開催 目的:那須に来訪することでしかできない芸術体験を提供した 場所:那須町各地 開催日:7/2、10、15、12/8、15、22 ② 芸術祭の開催 目的:那須地区の芸術家、工芸家の作品を展示し、文化交流人口の増加を図った 場所:森のビール園サッポロビール 5/1から5/31 約400名の入場者あり 余笹川ふれあい公園 9/9、10 約300名の入場者あり ③ 収穫祭の開催 目的:農協等と連携し、地域の農産物と地域の芸術作品を同時にPRした 場所:旧室野井小学校 11/19 約300名の入場者あり ④ 情報の発信 目的:那須に来訪することでしかできない芸術体験の情報を積極的に発信した 方法:ホームページ・広告・ポスター(芸術体験を提供する施設、観光協会等の関係機関へ設置) 期間:随時 ⑤ 関係団体との連携 目的:体験型観光客を滞在型観光客へとつなげるため、関連団体と連携した 関係団体:那須野農協、那須町観光協会、那須町商工会、那須教育旅行誘致協議会 など 方法:宿泊業者への斡旋、芸術祭や収穫祭への参加協力 など 期間:随時 <p>【平成30年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】産業振興による活力ある地域戦略 【基本的方向】観光産業の振興と交流人口の拡大 【KPI】観光客入込数 4,707,029人(H26) → 5,400,000人(H31)【H27実績4,802,208人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	29年度			30年度			31年度			支援期間の事業費計	
	29年度	30年度	31年度	29年度	30年度	31年度	29年度	30年度	31年度	支援期間の翌年度	
事業内容	①体験教室の開催 ②芸術祭の開催 ③収穫祭の開催 ④情報の発信 ⑤関係団体との連携	①体験教室の開催 ②芸術祭の開催 ③収穫祭の開催 ④情報の発信 ⑤関係団体との連携	①体験教室の開催 ②芸術祭の開催 ③収穫祭の開催 ④情報の発信 ⑤関係団体との連携	①体験教室の開催 ②芸術祭の開催 ③収穫祭の開催 ④情報の発信 ⑤関係団体との連携	①体験教室の開催 ②芸術祭の開催 ③収穫祭の開催 ④情報の発信 ⑤関係団体との連携	①体験教室の開催 ②芸術祭の開催 ③収穫祭の開催 ④情報の発信 ⑤関係団体との連携				①体験教室の開催 ②芸術祭の開催 ③収穫祭の開催 ④情報の発信 ⑤関係団体との連携	
事業費	1,166,875	600,000	600,000	1,166,875	600,000	600,000	2,366,875			600,000	
市町支出金(ソフト事業分)	882,278	500,000	500,000	882,278	500,000	500,000	1,882,278				
うち県交付金	441,139	250,000	250,000	441,139	250,000	250,000	941,139				
市町支出金(ハード事業分)				0			0				
うち県交付金				0			0				
その他自主財源等	284,597	100,000	100,000	284,597	100,000	100,000	484,597			600,000	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単事業調査)
【単事業】

市町名	那須町
事業名	「クロロとゆめな」を活用した黒田原地域活性化事業
事業主体の名称	黒田原活性化プロジェクト
代表者の名称	渡邊 陽裕
事業主体の所在	那須町大字寺子丙4-55
事業主体の概要	・団体の目的:町民主体の活動により、地域の課題解決を实践、黒田原エリアを軸とした那須町の地域振興に寄与すること ・設立年月日:平成29年1月21日 ・構成員等:事業の目的を理解し、その目的達成に向けて努力する者
当該事業に係る地域の現状と課題	現在、黒田原地域は人通りの少ないシャッター商店街となっている。年に数回、祭り等の催事も開催し、ポイントでの集客はできているものの、その集客数も年々減少傾向にある模様。また、継続したにぎわいの創出には至っていない。そこにはアクセスの悪さ、観光先の少なさなど多くの要因があるが「知られていない」ことが最たる理由である。にぎわいを創出するためには、まずは地域知名度の向上・魅力発信が課題である。
事業目的	・黒田原を中心に、那須町の知名度向上、魅力発信、ファンの獲得を図る。 ・黒田原商店街に人を呼び込み、にぎわいの創出、活性化を図る。
事業概要	【平成29年度】 「クロロとゆめな」という黒田原のマスコットキャラクターを活用し、下記の事業を行った。 ①短編映画による魅力発信事業 開催日時:4/15、5/4~5、7、7/23、11/3、11/9~14 開催場所:那須町内各所、ベトナム(ホーチミン) 目的:昨年製作された那須町PR短編映画「クロロとゆめな the MOVIE ~ツナガルミライ~」を町内及び全国の受け入れ先で上映した。映画は黒田原をはじめ那須の各所が映っており、登場人物も地元の方が多数出演している為、映像を通して町の魅力を伝えることができた。また「クロロとゆめな」本人も同行トークやグリーンティングも行うことでより効果的に那須をPRした。 ②ラッピングカーによるPR事業 運用開始:11月から 目的:「クロロとゆめな」のラッピングカーを製作し、キャラクター移動の際にも黒田原・那須町をPRできるような環境を整えた。一度製作すれば、継続したPRが可能に。尚、車両本体は本事業開始前に入手した。 ③ポスター・チラシ等によるPR事業 配付開始:8月から 目的:キャラクターポスター・チラシ等、告知宣伝に係るものを製作し、町内及び周辺地域での配布・掲示等を行い、地元周辺での地域のファンづくり、地盤づくりを実施した。 キャラクターを活用することで、コミュニケーションの障壁が下がり、より多くの層へ地域の魅力を訴えることができた。「クロロとゆめな」は那須町黒田原の史実に基づいて生まれたキャラクターである。年間イベント50日前後の稼働数を持ち(2016年度実績)、徐々に知名度を増している。2016年度はキャラクター写真集の発行、とちぎテレビアニメフェスタ出演、短編映画の製作(おもいがわ映画祭2016にて小山市長賞受賞)、宇都宮PARCOでの単独長期イベント(2017年1月1日~15日)などですでに多くの実績を残している。 キャラクターの特性及び、これまでの実績より地域の課題解決に「クロロとゆめな」を活用し、事業を実施した。 【平成30年度以降】 ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、黒田原地区の活性化に寄与する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標1】「那須」の魅力を最大限に活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】地域ブランド調査観光意欲度全国ランキング 184位(H26) → 100位以内(H31)【H28実績184位】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①短編映画PR ②ラッピングカーPR ③ポスター・チラシ等PR				①短編映画PR ②ラッピングカーPR ③ポスター・チラシ等PR
事業費	1,024,123			1,024,123	200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000			1,000,000	
うち県交付金	500,000			500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	24,123	0	0	24,123	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	だっばら駅前マルシェ
事業主体の名称	だっばら駅前マルシェ
代表者の名称	渡辺 陽一
事業主体の所在	那須町大字寺子丙3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:食を通じ農と商工業の交流による経済活性化を目指す ・設立年月日:平成28年12月19日 ・構成員等:正会員は、この会の目的に賛同し入会した者及びマルシェ出店者とする
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>かつての黒田原駅前地区は、町の中心地として賑わっていたが、現在の駅前通りには営業している店舗がほとんどなく、シャッター通りとなって永い年月が経過してきた。</p> <p>また、農業を筆頭に観光商工業も衰退の一途を進み、担い手の減少や高齢化が進んでいる。地域農業を支える担い手の確保・育成、さらに、農商工連携が遅れているため、「食」を通してつながり合える地域づくりが必要となっている。</p> <p>また、農畜産物や商工業は零細事業者が多いため、広報や情報発信が貧弱なことが課題である。</p>
事業目的	埋もれている農畜産物やその加工飲食物、生産者の顔や経営指針をマルシェで披露することで、売上の向上と後継者増加を図る。また、農業や商工業者の交流と連携で新たな価値を創造し、地域担い手の人材育成を行う。さらに、東北線の駅前を活かしてDCと連動させ、観光振興を図る。
事業概要	<p>平成29年にスタートする「プレミアムフライデー」賛同し、平成29年5月26日より、毎月末金曜日夕方に食を通じ農と商工業の交流による経済活性化を目的とし、JR東北線とその駅の強みを活かした「だっばら駅前マルシェ」を開催した。</p> <p>黒田原駅前の空き店舗を活用した「那須珈琲 カフェ ラ ティートンズ」の店舗と隣の空き地を中心にマルシェを開催し、農家や商工業者に出店交流及び営業販促する場を提供した。なお、平成29年より開始するJRのDCにアピールすることで、目的達成と集客につなげた。</p> <p>【平成29年度】 「だっばら駅前マルシェ」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 5月26日(金)、6月23日(金)、8月25日(金)、9月29日(金)、10月27日(金) ・開催場所 黒田原駅前のカフェ、空き地 ・出店者 農畜産物生産者、飲食店、食器などの食関連の商工業者 ・内容 農畜産物、飲食品、商工業品 ・特集 狭い空間とイベント性での集客が必要なため、月ごとにテーマや出店者を変えた。 「情報の発信」 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、新聞折込でのイベントの告知、新商品の情報発信 </p> <p>【平成30年度以降】 前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】産業振興による活力ある地域戦略 【基本的方向】足腰の強い「農林業」の再生と生産物の高付加価値化 【KPI】農畜産物生産額 94億円(H26) → 113億円(H31)【H28は算出していないため実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	だっばら駅前マルシェ の開催	だっばら駅前マルシェ の開催	だっばら駅前マルシェ の開催		だっばら駅前マルシェ の開催
事業費	1,098,000	800,000	1,000,000	2,898,000	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	500,000	500,000	2,000,000	
うち県交付金	500,000	250,000	250,000	1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	98,000	300,000	500,000	898,000	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	黒田原夏まつり
事業主体の名称	黒田原夏祭り実行委員会
代表者の名称	大島 寛樹
事業主体の所在	那須町大字寺子丙1
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 会は黒田原夏まつりを推進(企画・実行)し、黒田原地区の経済・文化の向上に寄与することを第一の目的とし、定住移住の推進にも寄与する</p> <p>・設立年月日: 平成26年6月1日</p> <p>・構成員等: 会員は団体の目的を理解し、その目的達成に向けて努力する者によって構成する</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>黒田原地区は那須町役場、JR黒田原駅がある那須町の中心部である。特に駅前には、かつて商店が立ち並び多くの人が行き交う賑やかな場所であったが、現在は地方経済の衰退、少子高齢化による人口減少、若者の流出や後継者難等により商店街、事業所の衰退を招いている。</p> <p>いかに一人ひとりが黒田原に誇りと愛着をもつことができるか、及び若者に伝統を継承していけるかが今後の課題である。そのため、どのように取り組みを実行するかが重要である。</p> <p>具体的には、那須高校生などの若い人たちに当日の祭への参加だけではなく、計画段階から取り組ませることで、より地域への興味を持たせることに取り組む必要がある。</p>
事業目的	<ol style="list-style-type: none"> 古き良きお祭りを再現することで、黒田原地区住民のコミュニティーを図ること 祭を開催することで黒田原の活性化を図ること 同時開催される八雲神社のお神輿と連携することで、伝統文化を体現し黒田原地区の魅力を取り起こすこと 若い人に参加を促し伝統文化の継承と若者の定住化促進に繋げること
事業概要	<p>平成29年度 「黒田原夏まつり」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 7/22(土) ・参加人数 まつりへの人出 2,000人 ・開催場所 黒田原駅前通り ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民(那須高校生を含む)による出店 ・各種イベント(路上ライブ、チアダンス、キッズダンス) ・同時開催される八雲神社のお神輿には那須高校生や黒田原地区の事業者等の参加を促す事で若者の那須町への定住化を図った。 ・浴衣での参加を促した。 ・提灯練等の飾り付けや会場設営を工夫しながら黒田原独自の伝統を作った。 ・地域コミュニティーの活性化のために定期的に実行委員会を開催した。 ・夏まつりの魅力を発信するために、チラシ、フェイスブック等を通じてPRした。 ・那須高校生には祭のアイデア発表会をまちづくりセンター等で実施し若い人を巻き込んだ。 <p>平成30年度以降 前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】</p> <p>【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	黒田原夏まつりの実施	黒田原夏まつりの実施	黒田原夏まつりの実施		黒田原夏まつりの実施
事業費	1,706,294	1,000,000	1,000,000	3,706,294	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	500,000	500,000	2,000,000	
うち県交付金	499,999	250,000	250,000	999,999	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	706,295	500,000	500,000	1,706,294	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	黒田原地区歴史文化啓蒙事業
事業主体の名称	黒田原地区地域づくり委員会
代表者の名称	瀬尾清
事業主体の所在	那須町大字寺子丙81-44
事業主体の概要	団体の目的: 地域の人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 設立年月日: 平成21年1月28日 構成員等: 自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	黒田原地区は、黒田原駅の開業と山田農場の開墾事業と共に発展してきた。地域内には、郷土の歴史を知るための文化財や名所が数多くあり、委員会では、これらの文化財や名所に案内看板を設置するなどの整備や、地域を知るための学習会を進めてきたところ、地域を案内するボランティアが育ち、郷土の歴史・文化を知ることができた。しかし、まだ、学習する機会が少なく黒田原の歴史・文化についての共通理解や、地域の魅力を再認識するまでには至っていない。今後は、さらに郷土を知り、見つめ直すことで郷土への誇りを持ち、郷土愛を育てていくことが課題となる。
事業目的	①黒田原駅開業後125年の時を経て街並みを営々として築いてきた先人の苦勞や心意気、生き様を、当時の写真を見せることで知ってもらい、郷土愛を呼び起こすと共に郷土愛を醸成する。 ②当該地域は黒田原駅開業前から人々の暮らし(営み)が続いていた。その歴史の数々を探り、映像にした歴史物語作品を地域内での上映会開催を多くして地域民の多数参加を促し、賑わいの再生を図ると共に地域理解の深化を図る。また、小中学校との連携を密にし、上映会の開催を通じて啓蒙活動を実施して、郷土愛の醸成を図る。
事業概要	【平成29年度】 ①写真集の作成(黒田原地区の歴史遺産の写真集) 目的: 郷土愛の醸成 配布先: 町、関係機関、小中学校等 部数: 50部 活用方法: 写真集とDVD映画と併用した啓蒙活動を実施 ②DVD映画の作成 目的: 駅開業以前からの歴史を映像に再現して地域の人々の啓蒙を図る為、地域おこし協力隊はじめ関係すると思われる諸団体と連携を取りながらシナリオを作成 配布先: 町、関係機関(幼稚園、保育所、小中学校については出向いて上映会を開催しながら啓蒙活動を行う) 部数: 10本(H30完成予定) ③交流会を開催 黒田原地区歴史文化啓蒙事業を達成に必要と思われる諸団体機関と連携して相互で協力ができる交流会を実施 時期: 9月、11月 【平成30年度以降】 ①写真集の作成 価格の低廉化を図り、地域住民へ頒布を拡大して黒田原地区の歴史遺産の啓蒙を図る。 ②DVD映画を作成し啓蒙活動を行う。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】 【基本目標2】安心して確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①写真集作成 ②DVD映画 作成 ③交流会開催	①写真集作成 ②DVD映画 の完成 ③歴史勉強会 ④写真展示会 ⑤交流会開催			写真集DVD映画を活用 した啓蒙活動
事業費	881,940	480,000		1,361,940	50,000
市町支出金 (ソフト事業分)	881,940	480,000		1,361,940	
うち県交付金	440,970	240,000		680,970	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	池田地区ひまわりプロジェクト
事業主体の名称	池田地区地域づくり委員会
代表者の名称	井上 光成
事業主体の所在	那須町大字高久丙1680-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成20年11月26日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>広谷地から池田の交差点の間に位置する「池田地区」はホテルもあり近年、観光客も増加している。地域づくり委員会としても、景観の魅力アップに努め「那須ヒオウギアヤメ」の保護、「お富士山」の整備等を行ってきた。しかしながら、「那須ヒオウギアヤメ」の植栽場所付近の休耕田では、観光協会が花の植栽をしていたが、予算、人手不足から園地の手入れが滞りがちとなっている。</p> <p>「那須ヒオウギアヤメ」はシーズンには写真を撮るなど立ち寄る人も増えてきているため、この休耕田に「ひまわり」を植栽し、付近一帯の景観を維持し魅力ある観光資源としてPRしていく必要がある。</p>
事業目的	<ol style="list-style-type: none"> ①園地を借り受けて「ひまわりの植栽」を行い、春の「アヤメ」夏の「ひまわり」と連続した鑑賞可能な景観を作る観光資源とする。 ② 地域の子育て会、中学校、住民との共同作業を実施することで地域の交流を深める。 ③ ひまわりの種まき～搾油に至る一連の作業を通じ、地域としての社会貢献出来るという自覚の醸成を図る。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりの植栽 植栽場所:一ツ樫地内の休耕田 規模:10アール 園地の整地⇒除草剤散布⇒施肥⇒耕作⇒種子の手播き ⇒除草⇒開花(花の鑑賞)⇒種子採取⇒乾燥⇒種子発送 ・地元住民で組織する池田地区地域づくり委員会のメンバーが実施した。 ・休耕田を活用し「ひまわり」の植栽や「那須ヒオウギアヤメ」の保護活動を通じ、地区住民の交流とふれあいの場を作った。 ・種子の発送先:NPO法人シャローム 福島県にあるNPO法人で「ひまわりプロジェクト」を実施している。 「ひまわりプロジェクト」とは、各地から届いたひまわりの種を製品化し、広く障がい者支援に役立てる活動。 <p>【平成30年度以降】</p> <p>前年度の実施状況を踏まえ、継続的に実施する。</p> <p>ひまわりの植栽</p> <p>規模:30アールに拡大</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】</p> <p>【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ひまわりの 植栽・採種	ひまわりの 植栽・採種	ひまわりの 植栽・採種		ひまわりの 植栽・採種
事業費	144,343	223,500	150,000	517,843	150,000
市町支出金 (ソフト事業分)	144,343	223,500		367,843	
うち県交付金	72,171	111,750	0	183,921	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	150,000	150,000	150,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	高久地区歴史めぐりと自然散策事業
事業主体の名称	高久地区地域づくり委員会
代表者の名称	相馬和至
事業主体の所在	那須町大字高久甲5175-3
事業主体の概要	・団体の目的:地域の人が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成21年1月29日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	高久地区は多くの史跡があり、里山・田畑などの自然も豊かな地区である。しかし、近年少子高齢化が進み、地域の各種イベントなどへの参加者も減少傾向にある。そのため、安全・安心な地域づくりは不可欠であり、希薄になりつつある地域住民間の交流・コミュニケーションの醸成が課題となっている。
事業目的	・地域内の史跡と里山・田畑を活用した歴史めぐりと自然散策ができる順路を整備し、散策会を実施する。地域の歴史や草花・野鳥などの自然の生き物に詳しい講師の指導による歴史めぐり、自然散策会に参加し、地区の歴史や資源を住民全体が深く知ることで地域への誇りと郷土愛の醸成を図る。 ・地域内の休耕田を活用した稲作(もち米)の栽培を地域住民と学童で行い、お互いに触れ合う機会を持つことで、希薄になりつつある地域住民の関係を改善する。また、子どもから大人まで住民間の交流・コミュニケーションを活発化することで、地域全体の安全・安心の質の向上を図り、住み良い地域づくりに貢献する。
事業概要	【平成29年度】 ①散策順路の整備 目的: イベント参加者の安全確保を目的とする散策順路の整備作業 内容: 看板の準備、用水路用橋の設置、階段の設置、草刈り 対象者: 高久地区地域づくり委員会の会員 実施時期: 4/23、7/16、11/5、3/30(延べ49名参加) ②歴史めぐり、自然散策会の実施 目的: 地域住民間の交流・コミュニケーションを図り、さらに地域を知ることで郷土愛を醸成(自然観察:草花・野鳥・水辺の生き物などの観察) 内容: 地区の歴史や草花・野鳥・水辺の生き物などに詳しい講師の解説を受けながら、歴史めぐり、自然散策会を実施 対象者: 地域住民(学童から高齢者まで) 実施時期: 草花観察・生き物観察: 8/20 参加者31名 歴史めぐり・自然観察: 11/12 参加者24名 ③休耕田の活用(もち米の栽培、餅つき大会へのもち米の提供) 目的: 地域住民による共同作業を通して、地域住民間の交流・コミュニケーションを図り、住み良い地域づくりに貢献 内容: 休耕田を借上げ、もち米を実施。集めたもち米は育成会へ提供した。育成会では11/25に学童、保護者を中心に餅つき大会を実施し、学童105名、保護者及び会員が約40名参加した。 対象者: 地域住民(学童から高齢者まで) 実施時期: 田植え: 5/11 古代米刈取り: 10/16~10/20 もち米刈取り: 11/4 【平成30年度以降】 ①散策順路の整備 ②歴史めぐり、自然散策会の実施 ③休耕田の活用(もち米の栽培、餅つき大会へのもち米の提供)
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】 【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①散策順路の整備 ②歴史めぐり、自然散策会 ③休耕田の活用	①散策順路の整備 ②歴史めぐり、自然散策会 ③休耕田の活用	①散策順路の整備 ②歴史めぐり、自然散策会 ③休耕田の活用		①歴史めぐり、自然散策会 ③休耕田の活用
事業費	937,707	522,000	522,000	1,981,707	22,000
市町支出金(ソフト事業分)	937,707	500,000	500,000	1,937,707	
うち県交付金	468,853	250,000	250,000	968,853	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	22,000	22,000	44,000	22,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	那須高原芸術祭
事業主体の名称	那須高原作家協会
代表者の名称	瀧 昭典
事業主体の所在	那須町大字高久乙2905-45
事業主体の概要	<p>・団体の目的:本会を互いの作品の発表・情報交換・公開の場として大いに活用することにより地元アーティストを育成し、那須町のファンを獲得する。各団体、個人などからの依頼(書)公開及び募集。画廊、美術館、デパートなど個展、販売会の幹旋。</p> <p>・設立年月日:2001年4月12日</p> <p>・構成員等:宣誓に同意し、作家又は志す者で町内在住者、又は町内に仕事場を持つ者。会員の推薦により委員会にて決議された者とする。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町における観光発信の中心となる高原エリアに芸術展示会場や音楽ホールが無いことにより、魅力的なアーティストの芸術発信の機会が十分に確保されていない。また、イベントを実施する際の2次交通が脆弱なことに加え、情報の発信方法も一方的になっているため、必要な情報が必要な方へ届いておらず、地元客や観光客を効果的に誘導できていない。さらに、町民が自由に発案するようなボトムアップイベントが発達していないため、学生や若手デザイナー、若手アーティストが活躍できる機会が少ない。町民主体のボトムアップイベントなどにより若手デザイナーや若手アーティストの活躍の場を増やし、那須町の新規ファンを獲得することが必要となっている。さらにリーダーになってもらうために必要な情報を提供できる環境を整備して新たな人の流れを起し、地域経済の活性化を図ることが課題となっている。</p>
事業目的	<p>効果的な情報発信や二次交通の強化による夜間イベントへの誘導や若年層観光客など新規分野での顧客獲得に加え、観光客を迎え入れるおもてなし人材の育成をすることにより、那須町に人を呼び込み地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>① 那須町在住デザイナーによる展示会の実施 目的:地域芸術の情報発信による地域活性化 会期:2017年6月2日～6月29日 10:00～17:00(会期中無休) 会場:サッポロビール那須工場森のビール園 2階ギャラリー</p> <p>② 他団体による展示会とのコラボレーション 目的:情報の共有及び情報発信の拡大 会期:2017年6月2日～6月29日 10:00～17:00(会期中無休) 会場:サッポロビール那須工場森のビール園 2階ギャラリー</p> <p>③ ワークショップの開催 目的:地域住民、観光客との交流 会期:6/4、6/11、6/18、6/25 会場:サッポロビール那須工場森のビール園 2階ギャラリー</p> <p>④ キャンドルナイトコンサートの開催 目的:芸術祭のPR及び情報発信の拡大 会期:2017年6月2日 19:00～20:30 会場:サッポロビール那須工場森のビール園 1階レストラン</p> <p>⑤ おもてなし人材の育成 目的:アートによる地域づくりの取り組み 内容:他芸術祭の視察 他団体との勉強会など</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>① デザイナーによる展示会の実施</p> <p>② 他団体による展示会とのコラボレーション</p> <p>③ ワークショップの開催</p> <p>④ おもてなし人材の育成</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】</p> <p>【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ キャンドルナイトコンサート ⑤ 人材育成	① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ 人材育成	① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ 人材育成		① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ 人材育成
事業費	1,564,017	700,000	700,000	2,964,017	700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	500,000	500,000	2,000,000	
うち県交付金	499,999	250,000	250,000	999,999	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	564,017	200,000	200,000	964,017	700,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単事業調査)
【単事業】

市町名	那須町
事業名	竹のイノベーションを考える里山再生と地域振興
事業主体の名称	那須の道を美しくする100人の会
代表者の名称	瀧 昭典
事業主体の所在	那須町大字高久乙2905-45
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 那須の自然を守り景観の美化に寄与すること 設立年月日: 平成19年12月3日 構成員等: 団体の目的に賛同したもの
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町芦野は、奥州道中の宿場町、城下町として発展し、松尾芭蕉や西行の歌や国も詠まれた遊り柳(国指定名勝)をはじめとして、歴史史跡などが数多く点在し、休日には歴史の息づかいを感じようと多くの観光客が訪れる。この地区には竹林が点在しているが、竹は利用価値のない厄介者として放置され、放置竹林の根が周囲の森林に侵入し、森林全体の荒廃、景観悪化等の一因となっている。当団体は、ごみ拾いや落ち葉さらいなどを通して、那須町の自然環境・景観を保全する取組を行ってきたが、このまま竹林の荒廃が進むと地域資源の魅力も減少することとなる。そのため、いかにして手入れがされず荒れてしまった竹林を整備し、竹資源を再び見直し価値を見出すイノベーションを考え、元気な芦野里山を未来につなげていくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 竹関連の音楽演奏、ワークショップ等を行い、参加者が竹に直接触れる体験をしてもらうことにより、竹を身近に感じ、利用価値を考え、放置竹林の問題と里山の一部としての利活用の方法を考えていきかけをつくる。 点在する散策エリア、歴史探訪の起点である唐木田竹林及びその周辺において、五感を震わせるイベントを開催することにより、地域の住民、観光客にとっての拠点となる場所をつくり、芦野の観光スポットへ回遊する観光客を増加させる。 芦野の景観、地域資源を保全することにより、住民が地域を誇りに思う意識を醸成し、そこに住み続けたいと思う住民を増やす。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①粉砕機による竹、樹木の整備(土壌の改善、環境改善)共同作業。 実施日: 5/16, 17, 18, 19 ②懇談会や共同作業をすることで地域の方とつながりを深めた。 ③竹林を楽しむため、地元の音楽家を招き演奏会を実施した。 那須芦野七夕まつり 実施日: 7/7, 8 ④フォトブック50冊、チラシ、ラジオなどでイベントPRした。 ⑤竹利用の先進地などとの勉強会、交流を深めた。 平塚市 実施日: 4/21 <p>【平成30年度以降】</p> <p>前年度までの取組の検証、分析を踏まえ、以下の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①竹林の整備 ②懇談会や共同作業をすることで地域の方とつながりを深める。 ③竹林内でフライダルショーなどの実施 映像関連の事業等
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】 【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①那須芦野竹灯りイベントの開催 ②竹林整備	①竹林整備 ②地域との共同 ③演奏会の実施 ④イベントPR ⑤先進地視察			①竹林整備 ②地域との共同
事業費	2,664,959	562,423		3,227,382	10,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	500,000		1,500,000	
うち県交付金	500,000	249,999		749,999	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,664,959	62,423	0	1,727,382	10,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	あかりキッチン
事業主体の名称	あかりキッチン
代表者の名称	川崎 ノブ子
事業主体の所在	那須町大字高久丙5375-2
事業主体の概要	<p>・団体の目的:地域社会における独居高齢者及び日中独居高齢者、また食事作りが不自由な高齢者世帯と食を通して交流し健康増進、改善を促進し、高齢者が笑顔をふやし、生きがいを見出すこと、これに高齢者の見守りもかねて行うこと。</p> <p>・設立年月日:平成28年7月1日</p> <p>・構成員等:那須町大島地区内に居住する町民</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>急速な高齢化が進み、ひとり暮らしの高齢者や日中をひとりで過ごす高齢者が増えてきている。寝たきりや認知症を予防し健康寿命を延ばすためにも、高齢者が他者と交流できる場が必要であるが、そのような場が少ない。</p> <p>さらに、高齢者は硬いものなどの食べにくい物を避け、栄養が偏る傾向がある。食事作りが不自由であったり外出困難な高齢者も増えている。健康の基本である食を通して、他者との交流の場を広げ、だれもが住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるようにすることが課題となっている。</p> <p>また、大島地区の子どもが通う小学校近くに、放課後児童クラブをH28年中に建設した。夏休み等の長期休みも子どもの受け入れを行うが、学校給食が休みになるため、毎日の昼食作りは働く保護者には大きな負担になる。安心して快適な子育て環境を提供するためにも保護者の負担を軽減することが必要である。</p>
事業目的	<p>・高齢者とスタッフが共に調理し、食事を通じて交流を図ることで、高齢者への栄養指導を行い、健康状態を把握する。また、食を通して交流することにより、寝たきりや認知症を予防し健康寿命の延伸を図る。食事交流会に参加できない高齢者については、スタッフが見守りを兼ねて定期的な弁当宅配を行い、高齢者の日常生活の変化などを感知することで、高齢になっても、安心して住み続けられる地域になる。</p> <p>・小学校や放課後児童クラブと連携し、夏休み中の昼食づくりをすることで、働く保護者の負担を軽減し、安心して快適な子育て環境を提供する。また、食育活動を行うことで、地域の貴重な子ども達の健全な成長に貢献し、地域住民が栽培した野菜を使用する事で、地産地消を推進し、食を通じた地域づくりを図る。全体を通して安心・快適な子育て環境の提供につなげることができ、大島地区の定住促進にも寄与する。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>①「食事交流会」の実施 内容:一人暮らしの高齢者と他者との交流。栄養指導、日常生活の変化等の感知。 実施日:4/30 29名、5/30 28名、6/30 30名、7/30 32名、8/30 40名、9/30 37名、10/30 32名、11/30 38名、12/25 27名、1/30 29名、2/28 31名、3/30 34名参加 場 所:穂積公民館</p> <p>②「見守りを兼ねたお弁当宅配」の実施 内容:食事作りが不自由または外出困難な高齢者を対象に見守りを兼ねて定期的な弁当宅配。 実施日:毎週火曜日 4月 69個、5月 77個、6月 72個、7月 81個、8月 109個、9月 107個、10月 112個、11月 99個、12月 90個、1月 87個、2月 90個、3月 89個 総計1082個</p> <p>【平成30年度】</p> <p>①「食事交流会」の実施 毎月30日 25名程度 穂積公民館 ②「見守りを兼ねたお弁当宅配」の実施 毎週火曜日 20食程度 ③「放課後児童クラブの昼食づくり(夏休み期間中)」 週2回 30食程度</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【基本的方向】健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活の継続 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p> <p>【目標2】子育て世代に選ばれる地域戦略 【基本的方向】出産・子育ての負担軽減 【KPI】合計特殊出生率 1.39(H26) → 1.48(H31)【H27年度実績1.44】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①食事交流会の実施 ②研修会への参加	①食事交流会の実施 ②見守り弁当配布	①食事交流会の実施 ②見守り弁当配布 ③放課後児童クラブの 昼食提供		①食事交流会の実施 ②見守り弁当配布 ③放課後児童クラブの 昼食提供
事業費	200,600	945,725	1,010,000	2,156,325	510,000
市町支出金 (ソフト事業分)	116,600	500,000	500,000	1,116,600	
うち県交付金	58,300	250,000	250,000	558,300	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	84,000	445,725	510,000	1,039,725	510,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	那須町
事 業 名	「那須・地ビール祭り2017」
事業主体の名称	「那須・地ビール祭り2017」実行委員会
代表者の名称	小山田 孝司
事業主体の所在	那須町大字高久甲3986
事業主体の概要	<p>・団体の目的:日本各地の地ビール醸造業者と共催し自然豊かなロイヤルリゾート那須と、那須のブランド力を高めるため農・商・観光連携事業のイベントを開催し、地域の新たな魅力づくりにつなげる。また、地域の人々に潤いを還元する、イベントの開催日程を二日間とすることで、旅行者の滞在が長くなり(宿泊・観光・飲食)と地域の経済活動を活性化させていく。</p> <p>・設立年月日:2015年4月1日</p> <p>・構成員等:本会は当該区域内(那須町)に居住する人、及び事務所等を設置している人、及び那須を愛する人をもって構成する。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町の基幹産業は観光業(宿泊・テーマパーク等)である。しかしながら東日本大震災以降、観光客数は減少し、未だ震災前の数値に観光客数が回復していない。特に宿泊人数の伸びが弱い状況にある。</p> <p>こうした状況をうけ、宿泊客の増加を図り、那須地域を周遊させる仕組みを作ることにより、観光業の底上げをし、地域経済を活性化させていくことが必要となっている。</p>
事業目的	<p>関東近県の観光客をターゲットとしてテーマパークを観光して帰る那須の周遊コースを作り、観光産業の増売、活性化(宿泊・テーマパーク)を図る。</p> <p>また、宿泊施設と連携し、地元食材(那須和牛)等のPRも兼ねた地ビール祭りを開催して宿泊客を増加させる。</p> <p>さらに、外国語に対応したホームページでの情報発信、旅行会社への売り込みを行い、訪日外国人旅行者(インバウンド)の誘致を図る。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>①那須・地ビール祭り2017の開催 日程:2017年8月26日(土)27日(日)2日間 場所:余笹川ふれあい公園 参加人数:8,000人 周知方法:新聞折込、チラシ配布、ネット配信、那須町広報</p> <p>②情報の発信 新聞折込:11,900部(那須町・那須塩原市・大田原・白河市) 一般配布:2,100部 ネット配信:ホームページ、フェイスブックでの周知</p> <p>③関連団体との連携 宿泊施設:地ビール祭り宿泊プランの開発及び販売</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【平成30年度】</p> <p>①那須・地ビール祭り2018の開催 日程:2018年9月1日(土)2(日)2日間 場所:余笹川ふれあい公園、 参加人数:目標9,000人、</p> <p>②情報の発信 新聞折込:35,000部(那須町・那須塩原市・大田原・白河市) 一般配布:10,000部 ネット配信:ホームページ、フェイスブックでの周知</p> <p>③関連団体との連携 宿泊施設:地ビール祭り宿泊プランの販売 旅行会社:地ビール祭り満喫プランの販売(国内外向け)</p>
	<p>【目標1】産業振興による活力ある地域戦略</p> <p>【基本的方向】観光産業の振興と交流人口の拡大</p> <p>【KPI】観光(宿泊・日帰り)総消費額 422億円(H26) → 482億円(H31)【H27年度実績439億円】</p> <p>【KPI】観光客入込数 4,707,029人(H26) → 5,400,000人(H31)【H27年度実績4,802,208人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①那須・地ビール祭り 2017の開催 ②情報発信 ③関連団体連携	①那須・地ビール祭り 2018の開催 ②情報発信 ③関連団体連携			①那須・地ビール祭り 2019の開催 ②情報発信 ③関連団体連携
事業費	2,945,032	2,600,000		5,545,032	2,600,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000		1,000,000	
うち県交付金	250,000	250,000		500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,445,032	2,100,000	0	4,545,032	2,600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	「傾聴と在宅支援」による地域支え合い事業
事業主体の名称	傾聴と在宅支援のボランティア・のぼらん
代表者の名称	竹原 典子
事業主体の所在	那須町大字高久甲496-12
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:傾聴と在宅支援のボランティアを必要とする人たちのための活動を行う。 ・設立年月日:平成25年4月1日 ・構成員等:本会の目的に賛同し、原則として傾聴ボランティア養成講座または、傾聴研修会を修了した者で、本会のボランティア活動に参加する者(平成28年9月1日現在8名)
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町の高齢化率は、平成27年10月に県内ワースト2位(33.8%)となり、その後も上昇し、平成28年9月1日現在で35.1%となり、全国よりも20年早く高齢化が進み、それに伴う介護需要が急増している。特に、在宅介護を必要とする高齢者が増え、介護する家族等の負担感は大変厳しいものとなっている。介護する側は、介護の悩みを共有できる人がいない、あるいは家族の理解がないことで不安が募り、一方、介護を受ける側は、認知症で意思疎通がうまくできないなど、双方が心身ともに疲れ果てている状況となっており、地域福祉を支える基盤が揺らいでいる。そのため、地域の支え合いや交流の機能の維持し、住み慣れた地域でできる限り自分らしく暮らし続けられるように、いかにして地域コミュニティを支える人材を支援していくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護をしている方などが、「傾聴」に関する技術を学ぶことで、他者への理解や介護の現場で活用してもらう。 ・介護する方同士の悩みなどを共有する交流会を開催することにより、地域とのつながりを促進し、介護者の負担感を和らげる。 ・地域を支える人材を支援・育成することで、地域を支え合う仕組みをつくる。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傾聴と在宅支援ボランティア養成研修会の開催(フォローアップを含めて) 『研修会』は、1年目に研修会で傾聴スキルを学んだボランティアの気付きや問題点を支えるための復習を含めつつ、新たに学ぶ方に対して話を聴き、寄り添うスキルを学んだ。 実施日:11/11、11/18、11/25、12/3 ・講演会《かいご、さいご、そのご》開催 『講演会』では、総合事業による社会の変化を理解していただき、人生の最終章の捉え方、終末期をどう迎えるか、広く町民の皆様に向けて在宅訪問医師に話をもらった。 実施日:6/24 ・ケア(介護)する人たちのためのケアラズカフェ「野の花」を開催 『ケアラズカフェ野の花』では、家族を介護する人同志が、日頃の精神的緊張や疲れを互いに話し合い、寛げる場となるよう傾聴的に支えた。 ・1年目に『エンディングノート』を作ったためこれを携えて各地域に出向き、認知症について理解し人生の終末期について話しあう集いを進めた。そして、高齢化社会・多死社会の渦中を生きる町の高齢者やその家族と共に、その人らしく生き最期を迎えるための在り方や知識をともに話し合った。 <p>【平成30年度以降】</p> <p>前年度の実施結果を踏まえ、以下のことを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会 ・講演会 ・エンディングノートを書きながら話す集い ・ケアラズカフェ
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【基本的方向】健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活の継続</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 ・エンディングノートの作成、配布 ・ケアラズカフェ 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 ・講演会 ・エンディングノートを書きながら話す集い ・ケアラズカフェ 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 ・講演会 ・エンディングノートを書きながら話す集い ・ケアラズカフェ ・学習会 			<ul style="list-style-type: none"> ・エンディングノートを書きながら話す集い ・ケアラズカフェ
事業費	602,207	637,386	543,200	1,782,793	43,200	
市町支出金 (ソフト事業分)	488,497	500,000	500,000	1,488,497		
うち県交付金	244,248	250,000	250,000	744,248		
市町支出金 (ハード事業分)				0		
うち県交付金				0		
その他自主財源等	113,710	137,386		294,296	43,200	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	障がい者アートを活用した地域づくり
事業主体の名称	つながるひろがるアート展Nasu実行委員会
代表者の名称	伊藤 七男
事業主体の所在	那須町大字豊原乙1189
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:那須在住のハンディキャップのある作家たちが描いた絵画を通して芸術の素晴らしさを地域住民や観光客へ周知する。 ・設立年月日:平成20年4月1日 ・構成員等:「つながるひろがるアート展Nasu」の開催主旨に賛同し協力できる企業、団体、個人
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須地域には、障がいがありながらも芸術的な才能を持った作家が多くいる。障がい者アートは魅力的な地域資源だが、住民や観光客は、障がい者アートに触れる機会がなく、鑑賞したことがない人が大勢おり、障がい者の芸術的な才能を知ることができない。また、那須地域の福祉施設等でも障がい者自身が絵を描いたり、鑑賞する機会が少ない。</p> <p>このため、幼い頃から障がい者アートに触れる機会を作り、多様な価値観や豊かな人間性を育む必要がある。また、作家達と交流することで偏見やいじめを無くしたり、障がい者アートが、より多くの人々の目に止まる機会を増やすことが必要であり、いかにして、障がいの有無に関わらず人と人とがつながり、それを広げていくか、さらに、アート活動を通じて障がい者が積極的に社会に参加、貢献できるようにしていくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者アート展、ワークショップなどの障がい者の芸術的な才能に触れる機会をつくることで、地域住民及び観光客等の障がい者への理解を深めるきっかけをつくるとともに、障がい者自身の隠れた才能を発掘し、障がい者が積極的に社会に参加、貢献できる地域をつくる。 ・幼児期からの障がい者理解を深め、豊かな人間性を育むことにより、多様な価値観・個性を認め合う地域社会をつくり、全ての人にとって住みやすいまちをつくる。 ・障がい者アートが魅力的な地域資源であることを認識してもらうことで、積極的な活用を図り、新たな人の流れをつくる。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①障がい者アート展及び関連イベントの開催 ・第9回つながるひろがるアート展Nasu開催(開催場所:那須地域のホテル、レストラン等、開催期間:11月3日金曜～11月26日日曜) ・地域の障がい者と子供達との合同のアートワークショップ 開催場所:伊王野陣屋、開催日:7/29 幼年期からの障がい者理解の教育に努めた。 ②各団体主催のイベントへの作品出展 ・アーカーシャVII展、Viewing展(栃木県障がい者芸術展)、TAM展などでの作品展示等 ③絵画作品カレンダーの作成、配布、販売 ・目的:絵画作品のカレンダーを配付、販売し使用してもらう事でつながるひろがるの取り組みと作家達の才能を知ってもらった。 ・配布先:大田原市・那須塩原市の美術に興味ある方 ・配布部数:1,500部 <p>【平成30年度以降】</p> <p>前年度の実施結果を踏まえ、検証・改善を行ったうえで継続して実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①障がい者アート展及び関連イベントの開催 ・第10回つながるひろがるアート展Nasu開催 ②各団体主催のイベントへの作品出展(作品展示等) ③絵画作品カレンダーの作成、配布、販売
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【基本的方向】「那須(にしかない)地域資源を活用した魅力ある地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】</p> <p>【目標2】子育て世代に選ばれる地域戦略</p> <p>【基本的方向】特色ある教育による成長の支援と教育の充実</p> <p>【KPI】合計特殊出生率 1.39(H26) → 1.48(H31) 【H27年度実績1.44】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①障がい者アート展の開催及び関連イベントの開催 ②各団体主催のイベントへの出展 ③イラスト集、カレンダーの作成、配付	①障がい者アート展の開催及び関連イベントの開催 ②各団体主催のイベントへの出展 ③カレンダー配付	①障がい者アート展の開催及び関連イベントの開催 ②各団体主催のイベントへの出展 ③カレンダー配付		つながるひろがるアート展開催
事業費	1,640,765	1,098,557	740,000	3,479,322	240,000
市町支出金(ソフト事業分)	998,760	498,816	500,000	1,997,576	
うち県交付金	499,380	249,408	250,000	998,788	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	642,005	599,741		1,481,746	240,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	ホテルの里づくり事業
事業主体の名称	芦野地区地域づくり委員会
代表者の名称	田中良夫
事業主体の所在	那須町大字芦野1332
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成20年11月21日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町は、自然豊かなリゾート地として県内外から人気で、移住希望者も少なくはないが、芦野地区は那須の人気のエリアから離れており、若者の流出、高齢化が進み、将来的な地区機能の低下が懸念されてきた。また、町中心部から少し離れているという点は、ホテルが生息する自然環境をもたらしているが、住民にとってはホテルを觀賞できることは当たり前で、魅力であることが認識されていない。</p> <p>そんな中、数年前、数十年前に比べホテルが觀賞できる場所が少なくなってきたという声もあり、将来的にホテルまでが見られなくなってしまうことが懸念されている。そのため、いかにして住民自らが地域の魅力を認識し、ホテルの生息地を守りつつ、人を呼び込んでいくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルが生息する環境を活かし、発展させ、「ホテルの里」をつくる。 ・住民自身に地域の魅力を認識してもらう。 ・芦野地区の魅力(「ホテルの里」)を外にPRし、移住定住を促す。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ホテル生息地の飛翔及び水質等の環境調査、環境整備の実施 ・実施日:6月中旬~7月上旬(調査員16名) ② 在来種ホテルの飼育を通して、ホテルの保護活動の実施 ・実施日:7/1から開始 ③ ホテル飼育学習会を開催し、自然環境を守る活動をした。 ・実施日:6/15(15名)、7/1(14名)、12/22(17名)、3/10(5名) ・場所:芦野基幹集落センター及び芦野地区内ホテルの里 ・講師:なかがわ水遊園 目野 透先生 ・対象者:小学生 参加希望者 ・内容:ホテル飼育学習会、環境調査 ④ ホテルの觀賞会を行い、虫の生育環境への関心を高めた。 ・実施日:7/1 場所:芦野基幹集落センター ・講師:なかがわ水遊園 目野 透先生 <p>【平成30年度以降】 《ホテルの里を外へPRする》 前年度の実施結果を踏まえ、以下のことを継続的に実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 前年度に引き続きホテル保護活動、学習会及び鑑賞会の実施。 ② ホテルの里としてのイメージを定着させ、更なる生息地の拡大を図る。 ③ ホテルの里をPRする。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】 【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①ホテルの目撃情報調査、飛翔調査 ②学習会を開催 ③生息地の清掃、整備	①環境調査、環境整備 ②ホテル飼育 ③鑑賞会を開催 ④飼育学習会を開催	①保護活動、環境整備 ②ホテル飼育 ③鑑賞会を開催 ④生息地拡大 ⑤ホテルの里をPR		①保護活動、環境整備 ②ホテルの里をPR
事業費	65,141	105,413	80,000	250,554	30,000
市町支出金 (ソフト事業分)	65,000	105,413	80,000	250,413	
うち県交付金	32,500	52,706	40,000	125,206	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	141	0		141	30,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasulg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	ミツマタ群生地周辺整備事業
事業主体の名称	伊王野地区地域づくり委員会
代表者の名称	佐藤幸一
事業主体の所在	那須町大字伊王野1383
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 地域の人が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日: 平成20年10月16日 ・構成員等: 自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員、地区住民 等
当該事業に係る地域の現状と課題	伊王野地区は、地区内の自然を活かした観光を強みとし、住民も誇りに思っている。伊王野城山の一部の場所には、2月から5月頃にかけて黄色い花を咲かせる「ミツマタ」の群生地があるが、そこに向かう山道は非常に狭く、手入れがされていないため荒れており、また、伊王野地区を訪れる方のほとんどは、車を利用しているが、駐車場もないため、うまく誘客することができていない。今後の課題としては、ミツマタ群生地へ続く道や駐車場の整備し、さらに、春になると桜や椿、ツツジの花が咲き誇る伊王野城山公園と併せて観光資源としていく必要がある。
事業目的	地域住民自らが、ミツマタ群生地の環境や取付道の整備に携わることで地域資源を最大限活用し、地域資源に触れ、地域住民の自然環境の保全意識の醸成、郷土愛の醸成を図る。また、花の開花時期が重なる伊王野城山公園と併せてPRすることで、観光誘客の相乗効果を図り、交流人口を増加させることをねらう。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事業の内容や作業についての打合せなど委員会を開催した。3回 ② ミツマタ群生地の倒木の撤去、下草刈りを行った。又、植栽をし、株数を増やした。 ③ 駐車場の整備を実施した。 ④ U字溝を設置した。 ⑤ 案内看板を設置した。2か所 ⑥ 取付け道路の整備を行った。 <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事業の内容や作業についての打合せなど委員会を開催する。3回 ② ミツマタ群生地倒木処理、草刈りを行う。植栽をし、株数を増やす。 ⑥ 取付け道路の整備を行う。 ⑦ 遊歩道の整備を行う。 ⑧ ミツマタ群生地をPRする。 <p>【平成31年度以降】</p> <p>前年度の実施状況を踏まえ、継続的に実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】 【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①道路拡張整備 ②環境整備、植栽	①委員会開催 ②環境整備、植栽 ③駐車場整備 ④U字溝設置 ⑤案内看板設置 ⑥道路整備	①委員会開催 ②環境整備、植栽 ⑥道路整備 ⑦遊歩道整備 ⑧ミツマタ群生地PR		①委員会開催 ②環境整備、植栽
事業費	527,989	499,429	500,000	1,527,418	30,000
市町支出金 (ソフト事業分)	527,989	499,429	500,000	1,527,418	
うち県交付金	263,994	249,714	250,000	763,708	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0		0	
うち県交付金	0	0		0	
その他自主財源等	0	0	0	0	30,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	大島ふれあい田んぼアートづくり事業
事業主体の名称	大島地区地域づくり委員会
代表者の名称	平山幸昭
事業主体の所在	那須町大字漆塚732
事業主体の概要	<p>・団体の目的:地域の人が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。</p> <p>・設立年月日:平成20年12月1日</p> <p>・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	大島地区では、地域住民が集う憩いの場として、河川公園の整備や余笹川流域の環境保全等、地域内の整備に取り組んできたが、地域外との交流はなかった。そこで、河川公園等の維持管理や利活用のため、こどもからお年寄りまで世代を越えた地域住民が主体となる大島ふれあい祭りを開催し、地域住民の一体感を培ってきた。しかし、依然として住民の地域外への流出が続いており、今後どのようにして郷土愛を醸成するかが課題となっている。
事業目的	町民主体のイベントである「大島ふれあい祭り」に併せて、田んぼアート、地域のマスコットキャラクターを作り、田んぼアート開催とまつり開催日を同時期にすることにより、まつりをさらに盛り上げ、町民の地域に対する愛着と一体感の更なる醸成を図り、さらには町内外からの参加者・見学者が増加することで住民の自信につなげ、住民の町外流出を抑制する。また、地域資源を活用するため、田んぼは休耕田を使用する。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>①田んぼアートづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苗作り、圃場整備、田植え、除草管理 ・環境整備(圃場周りの草刈り、観覧席の保守) ・テーマ:「元気な大島」 ・公開:9/1~11/5 ・大島ふれあい祭りと同時期に公開することで、来場者数をより多くした。 ・米は食用ではないため、刈取り後業者に引き取ってもらった。 <p>②マスコットキャラクター「しまたん」が各催し物へ参加し、地域の魅力をPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会などの小学校行事や敬老会などの地域行事、県内外のイベントへ参加し、元気な大島地区をアピールした。 <p>③大島ふれあい祭りの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:11/5 ・場所:上余笹橋河川敷公園 <p>【平成30年度以降】</p> <p>①前年度の実施結果を踏まえ、以下のことを継続的に実施する。</p> <p>②マスコットキャラクター「しまたん」が各催し物へ参加し、地域の魅力をPRする。</p> <p>③大島ふれあい祭りの開催</p> <p>※大島ふれあい祭りは、小学生達によるよさこいなどのステージ出演や牛乳の無料配布、地域住民による各種模擬店などが多数出店し、集まるみんなが笑顔になれるお祭りである。年4、5回行われる住民による草刈りにより、会場である河川公園は維持されている。また、田んぼアートの開催は那須町では珍しく、会場から近い場所で同時期に行うことにより、来場者がより多くなることが見込め、住民の一体感と郷土愛が醸成される。なお、米は食用ではないため、刈取り後業者に引き取ってもらう。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】</p> <p>【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①田んぼアート作り ②観覧場作成 ③環境整備 ④マスコットキャラクター作成、地区PR	①田んぼアート作り ②しまたん活動 ③ふれあい祭り開催			①ふれあい祭り開催 ②しまたん活動
事業費	922,998	796,384		1,719,382	200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	922,998	351,440		1,274,438	
うち県交付金	461,499	175,720		637,219	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	444,944	0	444,944	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	那須の伝説「第15回那須九尾まつり」
事業主体の名称	那須九尾まつり実行委員会
代表者の名称	那須九尾まつり実行委員会 会長 高久 勝
事業主体の所在	〒329-3292 栃木県那須郡那須町大字寺子丙3-13(那須町観光工課)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的:地域資源を再発見し郷土愛の意識を高め、地域活性化、観光の振興などに資することを目的とする。 設立年月日:平成10年7月1日 構成員等:主催 那須町、那須町商工会、那須野農業協同組合、(社)那須町観光協会、那須町森林組合、那須町社会福祉協議会
当該事業に係る地域の現状と課題	那須九尾まつりは、町内で別々に開催されていたイベントを、集客効果を高めるために、統合したイベントである。毎年9月最後の日曜日に実施され、今年で15回目を迎える。震災の風評被害で一時来場者数が落ち込んだが、昨年は参加団体80団体、96店舗が出店し、48,000人が来場するほどの大きなイベントに成長している。しかし、まつりにより誘客した観光客による市内の農林畜産物の消費につながらず、いかにして、まつり開催後も観光客に市内を回遊してもらえようなまつりとするかが課題となっている。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 那須九尾まつりにおいて、市内の観光スポット、八溝山村、農畜産物、地域産業、伝統文化等の魅力を伝える(ファンをつくる)。 まつり来場者ひとりひとりが、那須の魅力を感じてもらうことで、興味をもつ人を増やす(ファンがファンを呼ぶ好循環)。 興味をもったファンが市内回遊することで、観光消費や農畜産物等の地域産業の生産の増加を図る(観光意欲、消費意欲を上げる)。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>○「第15回那須九尾まつり」の開催 日時:平成29年9月24日(日)10:00~15:00 場所:那須町余笹川ふれあい公園</p> <p>①観光情報や地域団体等の紹介・展示コーナーを設置し、那須の魅力を最大限発信することで更なる観光誘客につなげた。</p> <p>②八溝杉を使ったアクセサリ作りや上棟式を実施し、木目や赤身の美しさ、曲げに強い特徴をPRし、八溝杉の利用拡大につなげた。</p> <p>③9種類の那須産食材を使ったお稲荷巻や、手打ちそばやすいとんなどの郷土料理を提供し、作り手の顔が見える安心安全な那須の農畜産物の消費拡大につなげることができた。</p> <p>④地域密着型の自転車プロスポーツチームや耐久性・耐熱性に優れた芦野石などをPRし、特色ある地域産業の発展につなげた。</p> <p>⑤九尾の狐伝説にまつわる伝統芸能である白面金毛九尾狐太鼓、九尾みこし、九尾よさこい踊り等の伝統文化を伝え、那須にしかない「まつり」を演出し郷土愛の醸成につなげることができた。</p> <p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> マスメディアへの掲載・発信(新聞、雑誌等) 黒磯駅、黒田原駅に横断幕を掲示(1ヶ月間) <p>【平成30年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度の実施結果を評価分析し、一層の観光客誘致に向けて継続して開催する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】産業振興による活力ある地域戦略</p> <p>【KPI】観光(宿泊・日帰り)総消費額(類型) 422億円→482億円【H27実績439億円】、農畜産物生産額 94億円→113億円【H28は算出していないため実績なし】</p> <p>【基本目標2】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【KPI】地域ブランド調査観光意欲度全国ランキング 184位(H26) → 100位以内(H31)【H28年度実績184位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①観光情報や地域団体等の紹介・展示コーナーの設置 ②八溝杉のPR ③安心安全な食の提供 ④特色ある地域産業のPR ⑤伝統芸能の披露	①観光情報や地域団体等の紹介・展示コーナーの設置 ②八溝杉のPR ③安心安全な食の提供 ④特色ある地域産業のPR ⑤伝統芸能の披露			①観光情報や地域団体等の紹介・展示コーナーの設置 ②八溝杉のPR ③安心安全な食の提供 ④特色ある地域産業のPR ⑤伝統芸能の披露
事業費	9,584,168	9,204,112		18,788,280	8,500,000
市町支出金(ソフト事業分)	7,000,000	8,000,000		15,000,000	7,000,000
うち県交付金	1,500,000	1,500,000		3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,584,168	1,204,112	0	3,788,280	1,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp